



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-525-5232
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
http://www.biwa.ne.jp/~ffs/
E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

地元にとり喜ばれるか 県民の財産をどう守るか

定期大会を開催 多くの仲間が 元気に意見交換

滋賀銀行従業員組合は、2月21日守山市において、第102回定期大会を開催しました。組合員に加え、来賓として金融労連近畿地協から2人、年金者部会から7人のOBのみなさんにご参加いただき、積極的な意見を頂戴しました。一部ですが紹介します。

行員減少して 人件費削減 銀行業務に支障

・行員は窓口・決裁・外交を担当。電話を取れるの



は、新入行員とパートタイマーだけ。内容がわからず、たらい回しになっています。

・現場の役席は自分の仕事を消化するだけで精一杯部下に指示するだけです。意見を聞いて、指導などをしているだけ。お客さんに喜ばれる商品を買ってほしい。だまして損を押し付ける仕事はしたくありません。

仕事に希望 自信と確信 持てる研修を

・立派な研修所が建ったが、中身が大切だ。仕事に希望が持て、世の中に貢献

れました。

恒例の学習会は「崩壊の危機にある日本の医療・介護制度の再生を」と題して滋賀民医連事務局次長の長田茂さんの講演を受けました。参加者から「話を聞き医療制度への驚きと深刻さ

医療制度の深刻さに 不安と驚き

に不安を感じずはあられない。「年金問題」とともに医療制度の充実をさらに追及していきたい」などの思いを固めあう学習となりました。

総会終了後、部会と組合の合同で行われた交流会は

「なかま」 和田 一郎

波紋300号 発行記念寄稿

れたときは、感想が紙面に載り登場していた事を思い出しています。

「なかま」の大切さ！素晴らしい！を従業員組合の闘いのなかで、教えてもらい、学んだ「なかま」の素晴らしい力！定年退職後、地域で世話役を押しつけられて、連日元気に奮闘しているが、その基本は、仲間と共に!!を肝に、職場の仲間を地域でも可能なかぎり実践して地域住民の信頼を得つつあります。

「団結の「絆」 植木 和美

文章を考えるのが苦手なため、「原稿を出したことがあったかなあー」という状態ですが、平和行進の行動日誌が掲載さ



11月号に徳田一男様の寄稿を掲載させていただきましたが、一部誤って記載いたしました。たいへん失礼いたしました。お詫びいたします。

銀行の原点 教訓どこへ

・資金運用の失敗でどうもい損をしたと聞いている。バブル時にも、投資信託で大きな損をしているが、その教訓はどこへ行ったのか。

・当行の資金運用姿勢に対し、県民や中小企業の人々は、笑う人はあっても喜んでいない。誰でもない。地元には喜ばれるノー・ハウの伝承がなくなったのか。

・地域金融機関は、県民の財産をどう守るかが使命だ。銀行業の原点がなくなってしまう。地銀が都銀と同じことをして



年金者部会が「総会」開催 滋賀民医連の長田茂氏が講演

2月21日、守山市において滋賀銀行従業員組合・年金者部会の第7回総会が開催されました。今回の総会は、従業員組合の定期大会と同じ会場で開催され、午前中の組合の定期大会には年金者部会から7名が参加され、午後の総会には部会員17名と従業員組合の組合員9名が参加し、定期大会来賓の金融労連近畿地協の2人も参加されました。

総会は寺田事務局長の司会で進められ、はじめに和

田部会長と中島委員長が挨拶をされ、この一年間の経過報告と「総会」は十月に開

催「世話人会議の定例化」「部会だよりの発行」「従業員組合やさなみネットとの交流」など新年度の方針が確認されました。

なお、新年度の役員は現任6人に3名が増員され部会長は和田一郎氏が再任さ